

第36回法人会全国大会三重大会探訪記

会長 田島淳次

夏の名残が残る10月3日(木)三重県津市で全国大会が412単位会1724名の参加のもと開催されました。大会式典の前に記念講演として伊勢神宮広報室広報課長の音羽悟氏による「皇室と神宮」という演題で講演がありました。今回は皇室に係る事なので、撮影と録音が全面的に禁止され、若干秘密裏な内容とプロゼクターでの映像説明となりました。数年前に行われた式年遷宮のエピソードとして五十鈴川に架かる宇治橋の檜製の床は20cmの無垢材も20年間に、1億数千万人が歩けば、半分にすり減るそうです。

また大会式典は来賓として星野次彦国税庁長官を始め、鈴木英敬三重県知事等の地元関係者、友誼団体各位や厚生事業協力会社代表を迎え、盛大に挙行されました。

そして恒例の各種表彰受賞や税制提言、また昨年青年部会全国大会で租税教育プレゼン大会で最優秀賞の金沢法人会青年部会によるプレゼンテーションがあり、租税教室をもっと学校から家庭へ地域へとステップアップしようと言う試みが披露されました。

最後に大会宣言として「少子高齢化の中、令和という新しい時代を迎え、中小企業が地域経済を支えられるように、活性化や事業継承税制の更なる拡充政策を求めるものである」と発表がありました。そして最後の閉会の辞は次年度開催県の岩手県連・高橋真裕会長がプロモーションビデオを紹介されながら締めくくられました。

会場となったサオリーナはレスリング女子でオリンピック金メダリストの吉田沙保里選手から命名されたアリーナと、メッセウイング・みえ、武道館など複合施設が建つ近代的な素晴らしい会場でした。

懇親会も隣のメッセウイング・みえで高校生ブラスバンドの迫力ある演奏で始まり、伊勢志摩の海・山の珍味や松阪牛、伊勢志摩サミットで出されたという地酒の味も堪能致しました。ホテルと違い会場も広く、ゆとりのある空間で1時間だけの交流でしたが、十分に楽しめるものとなりました。

翌日はほぼ快晴となり、自家用車での移動でしたので一路伊勢路を下り、伊勢神宮を参拝することにしました。20年近く前の平成12年9月に私が青年部会長の時、伊勢法人会青年部会と交歓会をさせて戴きました。その折に予想もしていなかったのですが、何と内宮の垣内参拝が許され23名で特別な場所から2礼2拍手1礼を。今もその時の記憶が残り、伊勢法人会に対しては感謝の一言です。これも法人会に入会していたから体験できたことで、今回は一般的な場所から阿波麻植法人会を代表して「天下泰平と五穀豊穰」の世の中が続きますようにと、多くの参拝者に押されながら祈願をして参りました。

